

総合2023 自分軸を考える～なに、なぜ、どうする～

第19回 11月9日(木)13:00～14:30

好奇心の見つけ方、深め方、活かし方



新田浩之氏

ライター、チェコ政府観光局公認 チェコ親善アンバサダー

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1987年神戸市生まれ。2011年関西大学文学部を卒業、2013年神戸大学大学院国際文化学研究科修了。ユーゴスラビアの現代史を研究し、バックパッカーに勤しむ学生生活を送る。

現在はライター、チェコ政府観光局公認のチェコ親善アンバサダー。

著書に『関西の私鉄格差』(河出書房新社)、『いろいろな民族と言語に出会う鉄道の旅』(三冬社)、『関西の鉄道 関東の鉄道 勝ちどっち?』(共著・河出書房新社)がある。また、イベントでの講演などを通じて、チェコの魅力を伝えている。主な守備範囲は中欧・東欧・ロシアの現代史・鉄道旅行・関西の鉄道事情だが、大学校歌・国歌・短波放送など、マニアックな雑学ネタを常に追い求めている。

<担当スタッフより>

皆さんの中には、好奇心や興味のあることがあっても、それをどのように探究していくのか、自分のやりたいことに結びつけられるのか、分からずに戸惑っている人もいるかもしれません。新田さんは子どもの頃から鉄道が大好きで、ライターや作家として鉄道について探究されています。高校時代に春江一也著『プラハの春』を読んだことをきっかけに、大学・大学院では東欧の歴史や社会について研究し、現在はチェコ政府観光局公認のチェコ親善アンバサダーとして活躍されています。さらに、新田さんは子どもの頃から大好きな「鉄道」を切り口に、東欧の現代史について向き合っています。講演を通して、好奇心や興味のある物事のつながりをきっかけに、自分の視野を広げていくことの大切さについて考える機会にさせていただけたらと思います。